

標準委員会 リスク専門部会 外的事象PRA分科会 地震PRA作業会

第1回 (RK6WG1) 議事録

1. 日時 2015年5月19日 (火) 15時00分～17時40分

2. 場所 関西電力東京支社 12号会議室 (富国生命ビル9F)

3. 出席者 (敬称略)

(出席委員) 平野主査 (電中研)、高田副主査 (東大:途中から出席)、成宮幹事 (関電)、内山委員 (大成建設)、蛭沢委員 (電中研:途中から出席)、尾之内委員 (電中研)、谷口委員 (日立GE)、堤委員 (電中研)、豊嶋委員 (NEL)、原口委員 (MHI)、樋口委員 (東芝)、平田委員 (原安進)、皆川委員 (埼玉大)、美原委員 (鹿島)、村松委員 (東京都市大)、吉田委員 (大林組) (16名)

(欠席委員) 小倉委員 (電中研)、中村委員 (日大)、山崎委員 (原安進) (3名)

(常時参加者) 岩谷 (中電)、黒岩 (MHI)、高橋 (鹿島)、竹内 (四電)、根岸 (GIS)、森山 (大成建設) (6名)

(傍聴者) なし (0名)

4. 配布資料

RK6WG1-1-1 人事について

RK6WG1-1-2 地震PRA作業会 委員・常時参加者名簿

RK6WG1-1-3 地震PRA作業会の今後の進め方について

RK6WG1-1-4 転載許諾の手続き状況

RK6WG1-1-5 地震PRA実施基準2014 新旧比較表

RK6WG1-1-6 事故シーケンス評価関連 見直し案

参考資料 なし

5. 議事内容

議事に先立ち、成宮委員より、今回の作業会は定足数 (13名) を満たしており、作業会として成立していることの確認があった。

(1) 主査選任

成宮委員より、地震PRA作業会発足に伴い主査の選任が提案され、本日の出席委員による投票

が実施された。投票の結果、平野委員が主査として選任された。

(2) 人事について (RK6WG1-1-1、RK6WG1-1-2)

成宮委員より、高田委員の選任が提案され、作業会として承認された。(作業会后、メール審議により正式に選任された)

平野主査より、当作業会の副主査は高田委員とし、幹事は成宮委員とすることが指名され、出席委員により承認された。

(3) 転載許諾手続きの状況及び修正箇所の確認 (RK6WG1-1-3、RK6WG1-1-4、RK6WG1-1-5、RK6WG1-1-6)

成宮幹事より、転載許諾手続きの進捗状況の報告があった。転載許諾が必要な91ヶ所に対して38ヶ所が残っており、標準委員会事務局に対して転載許諾の手続きを効率的に実施してもらうように働きかけることとした。

また、転載許諾に関するやり取りにおいて、引用文献の名称訂正、図の差し替え等が発生しており、「修正が必要な気になる箇所」がないか旧地震PRA分科会傘下の各作業会に対して確認依頼がされ、その集約結果が新旧比較表等を使用して、成宮幹事、岩谷常時参加者から報告があった。報告内容については、エディトリアルな修正であるかどうかを作業会で審議した。

主な審議結果は、以下のとおりである。

- ・地震ハザード評価の出典の記載に関して、最新知見である「Practical Implementation Guidelines for SSHAC Level 3 and 4 Hazard Studies (NUREG-2117, Rev. 1)」に見直すこととした。
- ・附属書BG (参考) のBG.5式を適切に見直す。
- ・附属書AZ (参考) の参考文献の記載については、年次を記載する。
- ・複数PSと複数MSが機能喪失した場合は、“複雑な”事故シナリオが発生することに記述を見直す。
- ・“スクリーニングアウト”の記述は、“スクリーニングで除外できる”と適切に見直す。
- ・附属書DG (参考) の参考文献の記載については、著者名を明確に記載する。
- ・“ミニマムカットセット”の記述は、他のPRA標準と整合をとって“最小カットセット”と適切に見直す。 等

(4) 講習会、英訳の状況 (RK6WG1-1-3)

成宮幹事より、転載許諾が終了し改定標準の発行後に、講習会を実施すること、標準の英訳(2007年版：NRCでNUREGとする方向で検討中、2014年版の英訳)が必要となることが報告された。

(5) 次回作業会の日程調整

成宮幹事より、次回開催時期は別途機会をみて調整することとした。

以 上